

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
障害者支援センター

目 次

事業報告概要	1
1 障害児地域訓練会運営費助成事業	3
2 障害者地域活動ホーム助成事業	6
3 地域活動支援センター事業障害者地域作業所型運営費等助成事業	10
4 地域活動支援センター事業精神障害者地域作業所型運営費等助成事業	12
5 障害者グループホーム運営支援事業	14
6 販路拡大事業	15
7 在宅障害児者家庭援護事業	16
8 研修事業	17
9 障害者福祉団体活動支援事業	18
10 地域活動支援事業	19
11 療育検診活動事業	20
12 啓発活動事業	21
13 調査研究事業	23
14 人権擁護事業	24
15 助成団体監査事業	26
16 障害者地域作業所等賠償責任保険事業	27
17 セイフティーネットプロジェクト横浜	28
18 福祉バス運行事業	29
19 障害者後見的支援事業	30
20 よこはま障害者共同受注総合センター事業	32
21 移動情報センター運営事業	33
22 横浜あゆみ荘事業	34
23 寄付配分事業	38

令和５年度 横浜市社会福祉協議会障害者支援センター 事業報告 概要

◆ はじめに

令和５年度は、新型コロナウイルス感染症が５月に５類化されたことを受け、各事業において、感染症対策を継続しながら「日常」を取り戻していく年となりました。重点取組でも、コロナ禍での工夫やその後を見据えた取組により、福祉バスの運行や横浜あゆみ荘の運営などではコロナ禍前に迫る回復を見せています。

また、令和５年度から新たに精神障害者作業所型施設の運営支援に取り組み、従来の身体障害、知的障害だけでなく、精神障害を含めた３障害一体の支援を実施しました。

本会各部署はもちろん、各区社協、地域ケアプラザ、当事者・家族等の関係団体、行政などとの連携を更に深め、誰もが互いに豊かな関係の中で生きられる社会の実現に向けて、各種事業を進めていきます。

◆ 令和５年度の重点取組

１ 地域における障害者理解の推進

セイフティーネットプロジェクト横浜支援事業において、横浜市内の全地域防災拠点へコミュニケーションボードの再配布を行い、地域防災拠点への啓発及び障害理解を進めました。

また、地域生活支援事業の一環として、障害児地域訓練会や親の会に所属する家族に依頼し、小学校や保育園で障害理解を進めるための「知的・発達障害理解啓発の講座」を５件実施しました。

２ 障害者後見的支援制度の推進

令和５年度に改訂した「制度紹介パンフレット」を活用し、関係機関や地域の当事者団体及び家族会への制度周知を行うなど全市的な広報・啓発活動に取り組み、登録者数は前年度比７３名増の２，０６０名となりました。

制度推進と人材育成を図るため、あんしんマネジャー、運営法人職員（担当職員、あんしんサポーター）を対象とした研修や事例報告会を実施しました。また、運営法人、横浜市との連携を密にするため、合同担当者会議、合同代表者会議を開催し、情報交換や課題の共有を行いました。

登録者の希望に基づいた身近な見守り体制づくりを区社協や地域ケアプラザ等の協力を得ながら運営法人とともに取り組みました。

3 移動情報センター運営・福祉バス運行事業の実施

移動情報センター運営事業では、相談件数が前年度の 2,172 件から 2,563 件に増加しました。また、区社協間の連携強化、情報共有のため、担当者会議を実施したほか、各区での相談の質の向上のため、ブロック別コーディネーター懇談会を 4 回実施しました。

福祉バス運行事業については、利用実績が前年度の 203 件から 308 件に増加する等、回復傾向にあります。昨年度からバス運行业務委託業者が変更となり、新たな業者と連携し、利用者の利便性やサービス向上に努めました。

4 横浜あゆみ荘のサービス・運営の向上

新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行、並びに障害者団体への PR 活動等を行った結果、宿泊者数は昨年度比約 3 割増となりました。

また、障害のある方向けの余暇支援、並びに障害理解・啓発の取組として、「障害のある方のためのバスケットボール教室」「障害のあるお子さんとそのご家族の写真展・作品展」等を実施しました。

業務の効率化に向けては、宿泊管理システムの更新に向けた検討を進めました。

5 「よこはま障害者共同受注総合センター」(わーくる) 運営事業の推進

民間からの業務委託推進はもとより、ここ数年横浜市教育委員会との連携により小中学校でのプール清掃や軽作業の請負などを進めています。プール清掃見学会等を通じて、多くの事業所がプール清掃の事業を受託できるよう推進しました。

わーくるへの相談件数は前年度並みの 547 件（前年度 533 件）と順調に推移しました。これまでのノウハウの蓄積や関係機関・団体・企業とのつながりを活かした受注機会の確保に取り組み、受注件数は 365 件（前年度 353 件）と増加しました。

6 事業に対するガバナンスとコンプライアンスの徹底

助成団体監査事業については、助成団体が助成金を適正に執行し、健全な運営を行うよう作業所型等や訓練会等団体に対し監査を実施しました。

特に R5 からは精神障害者作業所型が監査対象に加わることで、監査体制が身体・知的・精神と 3 障害に広がり、センターの掲げる「育成監査」としてその後のフォロー調査の有効活用を大幅に増やし、事業所におけるコンプライアンスへの取り組みを進めました。

1 障害児地域訓練会運営費助成事業

予 算 額	70,474,000円	※横浜市へ返還
補正予算額	0円	
収 入 額	70,474,000円	
決 算 額	57,411,955円	
差 引 残 額	13,062,045円	

(1)障害児地域訓練会運営費

35,952,000 円

障害児の保育やグループ活動、親の学習、地域に対する啓発・交流活動を行っている「障害児地域訓練会」に運営費を助成しました。

○助成団体数:42団体 (R4:45団体)

<内訳>

(単位:円)

区分	助成基準額	団体数	助成額	基 準		備 考
A'	460,000	11	5,060,000	週1回以上	2～9人	
A	920,000	15	13,800,000	週1回以上	10人～15人	
		1	613,000			8月からの助成(訓練会キャロット)
B	1,050,000	2	2,100,000	週1回以上	16人～20人	
C	1,190,000	4	4,760,000	週1回以上	21人以上	
D'	730,000	3	2,190,000	週2回以上	2人～9人	
		1	608,000			8月からの助成(エンゼルの会)
D	1,460,000	3	4,380,000	週2回以上	10人～15人	
		1	851,000			泉の会児童クラブ
E	1,590,000	1	1,590,000	週2回以上	16人以上	
合 計		42	35,952,000			

※令和2・3・4・5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により助成基準を満たせず、申請できないことがないよう特例措置として以下の基準緩和を行いました。

・助成対象児数2～9人の枠設定(A'とD')

(2)地域生活支援事業

105,000 円

障害児やその家族の地域生活を支えるため、社会参加の機会の少ない家族、支援者、地域の人々の研修会等に障害児地域訓練会等に所属する家族を派遣し、子育ての体験を話したり、訓練会活動の紹介等を行いました。

<内訳>

事前の打ち合わせ	2,000円×10名(延べ人数)	=	20,000
当日	5,000円×17名(延べ人数)	=	85,000

No.	派遣先	内 容
1	スターチャイルド荏田北ナーサリー	ant mamaが保育職員向けに障害理解の啓発講座を実施した。
2	瀬谷小学校	ant mamaが5年生を対象に人権学習として、知的・発達障害理解啓発の講座を実施した。
3	瀬谷第二小学校	ant mamaが5年生を対象に知的・発達障害理解啓発の講座を実施した。
4	二ツ橋小学校	ant mamaが4年生向けに人権学習の授業で、知的障害・発達障害の理解啓発講座を実施した。
5	西が丘小学校	ant mamaが6年生の授業において、知的・発達障害の理解啓発講座を実施した。

人件費	18,771,386 円
事務費	2,583,569 円

令和5年度地域訓練会一覧

単位(千円)

ラン ク	助成基準	団体数	助成額 (千円)	団体内訳					
				所在区	団体名	対 象	所在区	団体名	対 象
A	週1回以上 10人～15人 年間助成額 920千円	16	14,413	鶴見	エンゼルの会ジュニア	混	緑	ペガサスの会	学
				神奈川	グループスヌーピー	混	緑	虹の会	学
				中	チューリップ	混	緑	みらくるの会	学
				港南	なずな会	混	緑	すみれの会	学
				港南	港南区地域訓練会さいいた	混	青葉	ぽかぽかあおぼ	混
				港南	さんき会	学	都筑	バナナのおうち	混
				港南	すずな会	学	瀬谷	ほっぺ学校部	学
				金沢	かもめの会(キッズ)	学	西	訓練会キャロット	幼
A	週1回以上 R5 特例 460千円	11	5,060	神奈川	横浜こぐま園	幼	青葉	FFスミミングクラブ	混
				旭	めばえ会	幼	栄	あしたの会幼児訓練会	幼
				緑	さくらの会	幼	栄	礎・麻実の会	学
				緑	竹の子会うさぎグループ	幼	泉・戸塚	つくしんぼ会グリーンクラブ	学
				青葉	えくぼクラブ保育部	幼	神奈川	表の会てんとう虫グループ	幼
				青葉	土っ子の会	幼			
B	週1回以上 16人～20人 1,050千円	2	2,100	鶴見	ひよこ会文化クラブ	混			
				青葉	えくぼめだかクラブ	混			
C	週1回以上 21人以上 1,190千円	4	4,760	港北	れいんぼー	混	青葉	えくぼ体操教室	混
				港北	港北ひまわり会	学			
				港北	あおぞら汽車ポッポ	学			
D	週2回以上 10人～15人 1,460千円	4	5,231	西	まつぼっくり会学校部	学	南	泉の会児童クラブ	幼
				泉・戸塚	つくしんぼ会保育部	幼			
				瀬谷	ほっぺ保育部	幼			
D	週2回以上 R5 特例 730千円	4	2,798	鶴見	ひよこ会ひよこグループ	幼	鶴見	エンゼルの会	幼
				保土ヶ谷	あひるの会	幼			
				磯子	さつき会幼児保育部	幼			
E	週2回以上 16人以上 1,590千円	1	1,590	都筑	とまとのおうち	混			
合計		42	35,952						

2 障害者地域活動ホーム助成事業

予 算 額	504,383,000円	※横浜市へ返還
補 正 予 算 額	0円	
収 入 額	504,383,000円	
決 算 額	470,117,716円	
差 引 残 額	34,265,284円	

障害児者の地域活動の拠点である「障害者地域活動ホーム」の運営や事業の実施に必要な経費を助成するとともに、施設の保守点検などの維持管理を行いました。

(1) 機能強化型地域活動ホーム 基本運営費等

No.	活動ホーム名	基本運営費	地域交流活動費	高層加算	水道料金助成金
1	障害者地域活動ホームふれあいの家	9,233,087円	100,000円		
2	鶴見区障害者地域活動ホームもとみや	9,233,087円	100,000円		
3	たんまち福祉活動ホーム	9,233,087円	97,709円	750,000円	
4	神奈川区福祉活動ホーム	9,233,087円	80,539円		
5	西区地域活動ホーム	9,233,087円	100,000円	750,000円	
6	中区本牧活動ホーム	9,233,087円	100,000円		
7	南福祉ホームむつみ	9,233,087円	100,000円		
8	港南福祉ホーム	9,233,087円	100,000円		
9	港南地域活動ホームひの	9,233,087円	100,000円		
10	障害者地域活動ホームほどがや希望の家	9,233,087円	100,000円		
11	障害者地域活動ホームあさひ	9,233,087円	95,390円		
12	障害者地域活動ホームふたまたがわ	9,233,087円	100,000円	750,000円	
13	磯子区障害者地域活動ホーム	9,233,087円	82,582円		
14	障害者地域活動ホーム金沢福祉センター	9,233,087円	100,000円		
15	障害者地域活動ホームシーサイド	9,233,087円	100,000円	270,000円	
16	港北区障害者地域活動ホームともだちの丘	9,233,087円	100,000円		
17	港北区障害者地域活動ホームしもだ	9,233,087円	100,000円		
18	みどり福祉ホーム	9,233,087円	100,000円		
19	えだ福祉ホーム	9,233,087円	100,000円	270,000円	
20	戸塚障害者地域活動ホームしもごう	9,233,087円	0円		
21	さかえ福祉活動ホーム	9,233,087円	100,000円		
22	障害者地域活動ホームいずみ会館	9,233,087円	100,000円		
23	せや福祉ホーム	9,233,087円	37,234円		
合 計		212,361,001円	2,093,454円	2,790,000円	

(2) 機能強化型活動ホーム 生活支援事業費等

(単位:円)

No	活動ホーム名	重度重複 障害者加算	生活支援 基本事業	生活支援事業			
				一時ケア	ショートステイ	余暇活動支援	おもちゃ文庫
1	障害者地域活動ホーム ふれあいの家		6,000,000円	405,600 78回	300,000 12回	487,500 39回	606,600 36回
2	鶴見区障害者地域 活動ホームもとみや		6,000,000円	436,800 84回	3,500,000 140回	475,000 38回	353,850 21回
3	たんまち福祉活動ホーム			0 0回	300,000 12回	362,500 29回	0 0回
4	神奈川区福祉活動ホーム			1,180,400 227回	1,225,000 49回	162,500 13回	0 0回
5	西区地域活動ホーム			2,376,400 457回	500,000 20回	725,000 58回	0 0回
6	中区本牧活動ホーム		6,000,000円	1,638,000 315回	3,000,000 120回	725,000 58回	1,887,200 112回
7	南福祉ホームむつみ		6,000,000円	7,789,600 1,498回	375,000 15回	125,000 10回	2,898,200 172回
8	港南福祉ホーム			265,200 51回	850,000 34回	137,500 11回	0 0回
9	港南地域活動ホームひの		6,000,000円	1,783,600 343回	425,000 17回	625,000 50回	3,218,350 191回
10	障害者地域活動ホーム ほどがや希望の家			109,200 21回	750,000 30回	0 0回	0 0回
11	障害者地域活動ホーム あさひ			10,400 2回	75,000 3回	187,500 15回	0 0回
12	障害者地域活動ホーム ふたまたがわ			31,200 6回	1,150,000 46回	150,000 12回	0 0回
13	磯子区 障害者地域活動ホーム		6,000,000円	1,778,400 342回	1,175,000 47回	900,000 72回	0 0回
14	障害者地域活動ホーム 金沢福祉センター		6,000,000円	166,400 32回	1,925,000 77回	212,500 17回	0 0回
15	障害者地域活動ホーム シーサイド		6,000,000円	67,600 13回	1,200,000 48回	287,500 23回	286,450 17回
16	港北区障害者地域 活動ホームともだちの丘		6,000,000円	1,045,200 201回	1,375,000 55回	1,312,500 105回	1,128,950 67回
17	港北区障害者地域 活動ホームしもだ		6,000,000円	577,200 111回	525,000 21回	487,500 39回	893,050 53回
18	みどり福祉ホーム			3,270,800 629回	0 0回	275,000 22回	0 0回
19	えだ福祉ホーム			546,000 105回	425,000 17回	87,500 7回	0 0回
20	戸塚障害者地域 活動ホームしもごう			26,000 5回	0 0回	87,500 7回	0 0回
21	さかえ福祉活動ホーム		6,000,000円	2,522,000 485回	600,000 24回	175,000 14回	84,250 5回
22	障害者地域活動ホーム いずみ会館			98,800 19回	225,000 9回	600,000 48回	842,500 50回
23	せや福祉ホーム			1,248,000 240回	1,075,000 43回	900,000 72回	2,375,850 141回
小 計		0円	66,000,000円	27,372,800 5,264回	20,975,000 839回	9,487,500 759回	14,575,250 865回
合 計		0円	66,000,000円	72,410,550円			

(3) 補修費

(単位:円)

No.	活動ホーム名	決算額	内訳	
1	障害者地域活動ホームふれあいの家	21,843,500	大規模改修工事設計業務	961,400
			大規模改修工事監理業務	961,400
			大規模改修工事	19,748,000
			厨房給湯漏水管補修工事	132,000
			厨房ガラス交換工事	40,700
2	鶴見区障害者地域活動ホームもとみや	545,600	作業室窓修理	489,500
			GHP修繕工事	56,100
3	神奈川区福祉活動ホーム	341,000	大木伐採作業	341,000
4	たんまち福祉活動ホーム	16,762,350	GHP更新改修工事	16,762,350
5	西区地域活動ホーム	968,000	作業室等照明器具交換工事	968,000
6	南福祉ホーム むつみ	957,000	作業室等照明器具交換工事	957,000
7	港南福祉ホーム	907,500	看板設置工事	781,000
			作業室等照明器具交換工事	126,500
8	港南地域活動ホームひの	1,795,200	玄関ホール等照明器具交換工事	979,000
			車いす用トイレ修繕工事	816,200
9	障害者地域活動ホームほどがや希望の家	14,526,670	GHP更新改修工事	13,193,470
			外部門扉改修工事	499,400
			大木伐採作業	833,800
10	障害者地域活動ホームふたまたがわ	642,620	1階トイレ床補修工事	489,500
			浴室タイル補修工事	153,120
11	磯子区障害者地域活動ホーム	438,900	車いす用トイレ便座修理	94,600
			浴室ガス給湯器交換工事	344,300
12	障害者地域活動ホーム金沢福祉センター	1,449,800	漏水調査・穴埋め工事	30,800
			車いす用トイレ交換工事	456,500
			訓練室建具更新工事	962,500
13	障害者地域活動ホームシーサイド	2,339,120	汚物処理室漏水応急修繕費(共有部分)	18,823
			引込開閉器等更新工事設計(共有部分)	215,240
			防災設備更新工事設計(共有部分)	430,478
			2階女子トイレ便座交換工事(共有部分)	37,162
			ガス機器点検修理(共有部分)	1,636
			空調機修繕工事(共有部分)	572,880
			空調機配線修繕工事(共有部分)	546,282
			空調機室内機部品交換工事(共有部分)	499,019
			作業室リモコンリレー交換工事	17,600
14	港北区障害者地域活動ホームともだちの丘	1,688,500	樋設置工事	335,500
			ネズミ防除作業(1回目)	88,000
			ネズミ防除作業(2回目)	88,000
			ネズミ侵入対策工事(1回目)	47,300
			ネズミ侵入対策工事(2回目)	48,400
			作業室手洗いシンク補修工事	91,300
			大木伐採作業	990,000
15	港北区障害者地域活動ホームしもだ	1,185,800	シロアリ防除作業	38,500
			厨房換気扇交換工事	157,300
			大木伐採	990,000
16	えだ福祉ホーム	1,064,059	防災設備更新工事設計(共有部分)	421,421
			外灯交換工事(共有部分)	22,823
			B1階・1階照明器具交換工事(共有部分)	64,865
			事務室エアコンドレンホース交換工事	88,000
			訓練室ピクチャーレール設置工事	323,950
			1階照明器具交換工事	143,000
17	戸塚障害者地域活動ホームしもごう	45,577	訓練室空調機修理	45,577
18	障害者地域活動ホームいずみ会館	258,500	作業室エアコン据付補強工事	44,000
			作業室ガラス交換工事	214,500
19	せや福祉ホーム	396,880	交流室排煙窓修理	165,000
			訓練室棚修理	99,880
			車寄せ補修工事	132,000
20	全活動ホーム	4,920,080	更新・改修工事設計業務(GHP更新改修工事2か所)	860,200
			更新・改修工事監理業務(GHP更新改修工事2か所)	809,600
			排水管修繕工事(2か所)	228,800
			消防設備更新工事(4か所)	770,000
			消防設備更新工事(1か所)	242,000
			消防設備更新工事(1か所)	110,000
			消防設備更新工事(1か所)	385,000
			自動ドア更新工事(2か所)	1,086,800
			自動ドア更新工事(1か所)	27,500
			自動ドア更新工事(1か所)	369,600
			自動ドア更新工事(2か所)	30,580
			合 計	

※別途契約用収入印紙購入代 62,800 円

(4) 保守点検費

(単位:円)

No	活動ホーム名	決算額	自 動 扉 検	消 防 設 備 検	昇 降 機 検	高 圧 受 電 盤 点 検	空 調 機 点 検	そ の 他
1	ふれあいの家	0						
2	もとみや	0						
3	たんまち 福祉活動ホーム	330,000			330,000			
4	神奈川区 福祉活動ホーム	0						
5	西区地域活動ホーム	528,000			330,000	198,000		
6	中区本牧活動ホーム	0						
7	南福祉ホーム むつみ	0						
8	港南福祉ホーム	0						
9	港南地域 活動ホームひの	0						
10	ほどがや希望の家	0						
11	あさひ	0						
12	ふたまたがわ	330,000			330,000			
13	磯子区障害者 地域活動ホーム	0						
14	金沢福祉センター	0						
15	シーサイド	888,086	18,987	30,035	255,341	63,835		519,888
16	ともだちの丘	0						
17	しもだ	0						
18	みどり福祉ホーム	0						
19	えだ福祉ホーム	1,234,447		30,190	249,850	52,057		902,350
20	しもごう	0						
21	さかえ福祉活動ホーム	0						
22	いずみ会館	0	自動扉無し					
23	せや福祉ホーム	0						
24	全体分	4,185,638	580,800	768,075			1,471,443	1,365,320
消費税・差引分		0						
合 計		7,496,171	599,787	828,300	1,495,191	313,892	1,471,443	2,787,558

(5) 火災保険料

保険対象	経費	備考
障害者地域活動ホーム23か所	892,870円	建物及び設備等の火災等に対する保険(企業財産包括保険)

(6) 災害対策費

1 備品物資の更新

対象	経費	備考
障害者地域活動ホーム23か所	641,520円	災害時応急備蓄物資購入

※整備備蓄物資:缶詰パン、レトルトごはん、クラッカー、水等

人件費 30,101,856 円
事務費 2,190,838 円

3 地域活動支援センター事業障害者地域作業所型運営費等助成事業

予 算 額	1,707,735,000円	
補正予算額	0円	
収 入 額	1,707,735,000円	
決 算 額	1,602,379,461円	
差 引 残 額	105,355,539円	※横浜市へ返還

障害者が地域において自立した日常生活・社会参加を営むことができるよう創作的活動・生産活動等を行う場である「地域活動支援センター障害者地域作業所型」について、運営にかかる経費を助成しました。

○助成か所数:75か所 (R4:76か所)

(1) 助成内訳

科目		助成額	助成基準等	助成対象事業所数								
1	運 営 費	1,213,914,140円	<table><tr><td>通所者数</td><td>助成額(年額)</td></tr><tr><td>10人</td><td>13,800,000円</td></tr><tr><td>11人以降1人あたり</td><td>522,000円加算</td></tr><tr><td>20人以上</td><td>19,020,000円</td></tr></table>	通所者数	助成額(年額)	10人	13,800,000円	11人以降1人あたり	522,000円加算	20人以上	19,020,000円	75
通所者数	助成額(年額)											
10人	13,800,000円											
11人以降1人あたり	522,000円加算											
20人以上	19,020,000円											
2	特別介助加算	20,988,000円	対象者1名につき月額22,000円を助成 対象者数:85人	27								
3	介 助 加 算	59,505,600円	対象者1名につき月額9,800円を助成 対象者数:507人	75								
4	借 地・借 家 費	262,985,630円	50,000円までは全額、超過額の3/4を助成。上限額425,000円(月額)	74								
5	水道料金助成	1,978,200円	運営費助成対象者1名につき年額1,800円を助成。	75								
6	自主製品開発製作支援事業(技術指導員謝金)	2,370,000円	自主製品に携わる技術指導者に支払う謝金を助成。1回10,000円または5,000円、1団体につき年24回を上限。	23								
合 計		1,561,741,570円										

(2)地域活動支援センター作業所型 新設・移転概況

①新設 1ヶ所

②移転 0ヶ所

人件費 37,726,411円

事務費 2,911,480円

4 地域活動支援センター事業精神障害者地域作業所型運営費等助成事業

予 算 額	1,337,626,000円	
補正予算額		
収 入 額	1,337,626,000円	
決 算 額	1,288,294,805円	
差 引 残 額	49,331,195円	※横浜市へ返還

障害者が地域において自立した日常生活・社会参加を営むことができるよう創作的活動・生産活動等を行う場である「地域活動支援センター精神障害者地域作業所型」について、運営にかかる経費を助成しました。

○助成か所数:62か所

(1) 助成内訳

科目		助成額	助成基準等	助成対象事業所数								
1	運 営 基 本 費	1,060,000,074円	<table><tr><td>通所者数</td><td>助成額(年額)</td></tr><tr><td>10人</td><td>13,800,000円</td></tr><tr><td>11人以降1人あたり</td><td>522,000円加算</td></tr><tr><td>20人以上</td><td>19,020,000円</td></tr></table>	通所者数	助成額(年額)	10人	13,800,000円	11人以降1人あたり	522,000円加算	20人以上	19,020,000円	62
通所者数	助成額(年額)											
10人	13,800,000円											
11人以降1人あたり	522,000円加算											
20人以上	19,020,000円											
2	借 地 ・ 借 家 費	204,617,886円	50,000円までは全額、超過額の3/4を助成。上限額425,000円(月額)	60								
3	水道料金助成費	1,756,536円	運営費助成対象者1名につき年額1,800円を助成。	62								
4	365日開所助成費	6,750,000円	アルコール・薬物依存症の障害者を対象とする事業所が、毎日開所する場合の職員人件費等を助成。1か所あたり1,350,000円。	4								
5	自主製品開発・製作支援助成費	120,000円	自主製品に携わる技術指導者に支払う謝金を助成。1回10,000円または5,000円、1か所あたり年額120,000円を上限。	1								
合 計		1,273,244,496円										

(2)地域活動支援センター作業所型 新設・移転概況

①新設 0ヶ所

②移転 0ヶ所

人件費 12,848,471円

事務費 2,201,838円

5 障害者グループホーム運営支援事業

※経費については地域活動支援事業に合算して報告

(1) グループホーム運営支援

運営委員会を設置し、運営支援を必要とするグループホームに対し、職員会議や運営委員会へ職員を派遣し、助言を行う等運営支援を行いました。

(2) 緊急時支援助成

グループホームにおける緊急時に支援者を派遣した場合及び研修参加時の代替人員の人件費を一部助成しました。

○登録グループホーム数 :9箇所

○緊急時支援助成実施回数 :14回

6 販路拡大事業

予 算 額	6,156,000円
補 正 予 算 額	0円
収 入 額	5,996,002円
決 算 額	5,881,312円
差 引 残 額	114,690円

【収入の内訳】横浜市補助金:4,146,000円、売上:1,850,002円、その他:0円

障害者地域活動支援センター作業所型等の自主製作品を「ハートメイド」ブランドで通信販売するとともに、ふれあいショップの展示販売のほか、イベント等での出張販売を行い、作業所等の活動を広く市民に紹介しました。

ふれあいショップの販売に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響による閉店期間や時間短縮営業などが依然としてありましたが、売上は昨年同様の金額になりました。

また、イベント・学校行事が戻りつつあり、例年注文のある団体からの依頼が戻り、HPのオーダーフォームからの注文件数も増加しました。

〔カタログ掲載商品〕

商品分類	掲載数	商品分類	掲載数
菓子	114点	革製品	23点
工芸品	28点	紙製品	29点
家庭雑貨	29点	アクセサリー、小物	54点
染物、縫製品	41点	織物・マスク	30点
ギフト	15点	計	363点

(1) 展示販売か所

ふれあいショップ	4か所	みなと(西)、ぱあーすでい(港北)、愛あい(磯子)、のげやま(西区)
区 庁 舎	1か所	中区役所一階「ナカナ・カフェ」
横 浜 あ ゆ み 荘	1か所	売店
そ の 他	1か所	二ツ橋第二地域ケアプラザ「ふわっと」

(2) 販売実績

	受注件数	注文個数	総売上高(円)
合 計	203	9,055	1,850,002円

7 在宅障害児者家庭援護事業

予 算 額	2,634,000円
補正予算額	0円
収 入 額	2,634,000円
決 算 額	500,744円
差 引 残 額	2,133,256円

※横浜市へ返還

家庭奉仕員を障害児者のいる家庭に派遣する団体に対し、必要な経費を助成しました。

- (1) 登録団体 10 団体
- (2) 登録受入家庭数 46 家庭
- (3) 登録奉仕員数 47 人
- (4) 助成金額 481,500 円（単価500円）
- (5) 保険料 19,244 円
- (6) 登録団体及び助成回数内訳

No	団 体 名	回数	No	団 体 名	回数
1	磯子区障害者地域訓練会さつき会	131	6	港南区地域訓練会さ・い・た親の会	0
2	あしたばの会	67	7	麦の会	152
3	なずな親の会	66	8	港北ひまわり会	110
4	ほっぺ	0	9	ぽかぽかあおば	12
5	れいんぼー	415	10	竹の子会うさぎグループ	10
				合計	963

8 研修事業

予算額	1,605,000円	
補正予算額	0円	
収入額	1,605,000円	
決算額	1,521,770円	
差引残額	83,230円	※横浜市へ返還

地域活動支援センター作業所型、障害者地域活動ホーム、障害者グループホーム、後見的支援室、地域訓練会等の活動に関わる当事者とその家族、関係機関職員等に対し、障害者福祉の総合的な研修を実施しました。

障害者福祉総合研修実施状況

テーマ	回数	内容	参加者	対象者
障害福祉入門研修会(初任者研修兼用)	5回	講演・グループディスカッション	463人 (会場・Web)	作業所型・活動ホーム・グループホーム職員、障害児者関係団体・機関等
障害福祉職員研修(所長・中堅職員向け研修会)	2回	講演・グループディスカッション	65人 (会場・Web)	作業所型・活動ホーム・グループホーム職員、障害児者関係団体・機関等
医療・保健・衛生等研修会	6回	講演	537人 (会場・Web)	当事者・家族、作業所型・活動ホーム・グループホーム職員、障害児者関係団体・機関等
当事者・支援者向け研修会	1回	講演	59人 (Web)	当事者・グループホーム職員等
横浜障害児を守る連絡協議会共催研修会	1回	講演	64人 (会場)	当事者・家族、作業所型・活動ホーム・グループホーム職員、障害児者関係団体・機関等
障害のある当事者の話を聞く研修	1回	講演	75人 (会場)	後見的支援室職員、当事者・家族、作業所型・活動ホーム・グループホーム職員、障害児者関係団体・機関等
グループホーム職員向け研修	1回	講演	158人 (会場・Web)	作業所型・活動ホーム・グループホーム職員、障害団体、関係機関職員等
コンプライアンス研修(動画配信のみ)	1回	講演	動画再生回数 130回 (配信)	作業所型・活動ホーム・グループホーム管理職等
合 計	18回		1,551人	

9 障害者福祉団体活動支援事業

予 算 額	3,000,000 円	
補正予算額	0 円	
収 入 額	3,000,000 円	
決 算 額	2,738,721 円	
差 引 残 額	261,279 円	※横浜市へ返還

障害児者団体が実施する活動に対し、その事業費の一部を助成しました。
○助成団体数:13団体

補助団体一覧

NO	団 体 名	助成額
1	横浜市肢体不自由児者父母の会連合会	400,000円
2	神奈川県筋ジストロフィー協会 横浜支部	131,000円
3	(一社)横浜市自閉症協会	400,000円
4	日本二分脊椎症協会 神奈川支部	63,500円
5	横浜障害児を守る連絡協議会	400,000円
6	全国心臓病の子供を守る会 横浜支部	209,500円
7	横浜市障害者地域作業所連絡会	400,000円
8	横浜てんかん協会	128,000円
9	横浜市グループホーム連絡会	274,250円
10	(特非)横浜市手をつなぐ育成会	113,471円
11	(特非)横浜市精神障害者地域生活支援連合会	119,000円
12	横浜重心グループ連絡会～ぱざぱネット～	50,000円
13	先天性四肢障害児父母の会 横浜支部	50,000円
合 計		2,738,721円

10 地域活動支援事業

予 算 額	12,482,000円	
補正予算額	0円	
収 入 額	12,482,000円	
決 算 額	9,873,500円	
差 引 残 額	2,608,500円	※横浜市へ返還

障害者福祉に関する相談活動および地域活動支援センター作業所型等に医師、弁護士等を派遣し専門相談を行いました。

また、障害者地域生活に関する市民の理解を深めるため、当事者・家族等を講師とした啓発研修を、区社協等との協働により開催しました

＜活動内容別実施状況＞

項目	決算額	活動内容	備考
巡回相談	7,595,000円	地域活動団体に対し、巡回相談員を派遣。 法律相談 1 回 医療・保健・栄養相談 18 回 理学療法相談 192 回 言語聴覚療法相談 3 回 作業療法相談 6 回 社会保険・労務相談 0 回 税務相談 3 回 会計・パソコン相談 0 回 建築・不動産相談 4 回 活動支援 302 回 法定事業移行相談 1 回 その他専門相談 3 回 市精連巡回相談200,000円を含む	※
訪問健康相談	2,043,500円	専門病院及び地域医療機関による作業所型、地域活動ホームへの訪問健康相談を実施。 @33,500円×61か所	
当事者発・地域啓発支援	35,000円		
公 開 講 座	25,000円	区社協等との共催による公開講座の開催 1回	
地 区 別 研 修	10,000円		
グループホーム緊急時支援	200,000円	運営支援相談(グループホーム等) 14 回	
合 計	9,873,500円		

【令和5年度巡回相談新規登録】

※ 事業所通所者、GH入居者の嚥下機能、感覚機能の低下に関する助言者として、看護師、言語聴覚士、理学療法士を3名新規登録

※ 訓練会の対象児の身体機能および感覚機能の育ちについての助言者として、作業療法士、理学療法士を2名新規登録

11 療育検診活動事業

予 算 額	614,000円
補正予算額	0円
収 入 額	614,000円
決 算 額	614,000円
差 引 残 額	0円

進行性筋委縮症、筋ジストロフィー症児者に対し、機能回復訓練や相談会を行いました。

<実施内訳>

活動内容	回数	参加人数	経 費	内容・会場
集団リハビリ テーション	10回	25人	220,000円	音楽療法 (zoomによるリモート)
	2回	8人	151,680円	七宝焼き (横浜市神大寺地区センター工芸室)
	4回	13人	55,480円	患者交流会 (神奈川県民センター)
	1回	23人	179,735円	集団指導「フォトフレーム、テーピング」 相模原市ビレッジ若あゆ
療育手帳作成			7,105円	
合 計			614,000円	

※実施団体:神奈川県筋ジストロフィー協会横浜支部

12 啓発活動事業

予 算 額	2,619,000円	
補正予算額	0円	
収 入 額	1,373,000円	(内訳)市補助金1,363千円、寄付金10千円
決 算 額	1,943,330円	
差 引 残 額	-570,330円	※自主財源を充当

障害者支援事業所の活動や障害者支援センターの取組、また障害者の声を広く市民等に周知・発信することにより、障害理解を進めました。

(1)機関誌「お元気ですか」の発行(年3回)

市民や関係機関等に対し、障害者支援センターの各事業や取組・障害児者福祉に関する情報等を周知することで、障害理解を進めました。

- ①発行部数:10,000部 点字版・音訳版:110部
- ②配布先:障害者団体・施設、市内小・中・特別支援学校、保育園、ケアプラザ、区役所、区社協 他
- ③掲載内容

号数	発行月	主 な 記 事
第201号	6月	○いそご青い鳥「Seed Project」の取組(磯子区) ○ボランティア紹介(神奈川区) ○NPO法人新 研修推進部会による職員研修会の報告(中区) ○「障がいのあるお子さんとそのご家族の写真展」の開催報告 ○あゆみ荘だより ○福祉バス「あおぞら」の紹介
第202号	9月	○地域訓練会「童童クラブ(泉の会)」の取組(南区) ○ぼくのわたしのすきなこと(港南区) ○地域活動支援センター精神作業所型への支援、 地域活動支援センター「ミモザ」の紹介(金沢区) ○わーくる通信(JA横浜共同サービスと251の取組) ○あゆみ荘だより ○望遠鏡(障害者支援センター運営委員・村山さん)
第203号	3月	○港南地域活動ホームひの「福祉教育」の取組(港南区) ○ボランティア紹介(泉区) ○「のげちかマルシェ」開催報告 ○モニター活動事業の紹介 ○ハートメイド通信 ○望遠鏡(障害者支援センター運営委員・早坂さん)

(2) 関係団体名簿「お元気ですか」(2023年度版)の発行

①発行部数:1,100部

②配布先:障害者団体・施設、ケアプラザ、区役所、区社協 他

(3)「令和6年感謝の集い」感謝状の贈呈

障害者支援センターが関わる諸団体に協力いただいている個人または団体に対し、感謝状を贈呈する式典を開催しました。式典第2部では障害児者団体2団体によるアトラクションが披露されました。

○ 開催日:令和6年3月2日(土)

○ 会 場:横浜ラポール「ラポールシアター」

○ 参加人数:160人

(4) 障害理解啓発用リーフレットの周知

障害者団体部会では、市民に向けた啓発活動のために、障害者週間やイベント等で障害理解啓発用リーフレットを関係団体や市民に配付しました。

あわせて、啓発活動を目的としたウェブページの作成を検討しました。

①名称:「自分らしく生きる福祉社会をめざして」

②改訂版: 400部

13 調査研究事業

予 算 額	479,000 円	※横浜市へ返還
補正予算額	0 円	
収 入 額	479,000 円	
決 算 額	422,134 円	
差 引 残 額	56,866 円	

(1) 事業概要

特別支援学校等在籍生徒の進路結果・希望・予測の調査を実施し、調査結果で分かった課題を、福祉・教育・行政・医療など関係機関で共有し、課題解決を目指していくため「進路対策研究会」を開催しました。

(2) 事業実績

ア「進路対策研究会」の開催

- (ア) 特別支援学校等卒業生の進路状況調査の実施
令和4年度進路結果調査 令和5年度進路希望・予測調査
- (イ) 卒業生新規受入れ状況調査を横浜市と協働で実施
- (ウ) 特別支援学校等と地域活動支援センター作業所型・活動ホーム・
障害福祉サービス事業所等連絡会議 ブロック別の開催(4回)

※「進路対策研究会」構成校・団体

横浜市在住の生徒が在籍する国立、県立、市立、私立の特別支援学校・養護学校、フリースクール、サポート校、技能連携校など48校、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、横浜市健康福祉局で構成。事務局は障害者支援センター。

イ 重心特別部会の開催(4回)

14 人権擁護事業

予 算 額	2,950,000円
補 正 予 算 額	0円
収 入 額	2,950,000円
決 算 額	1,386,748円
差 引 残 額	1,563,252円

※横浜市へ返還

(1) 事業目的

障害者の人権擁護を進めるため、日中活動の場やグループホームの生活におけるモニター活動のほか、啓発・相談を実施しました。

また、B型グループホームへのモニター活動を関係機関と共に実施しました。

(2) 活動内容

ア 人権擁護委員会 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

イ モニター委員会 2回実施

ウ モニター委員研修 1回実施

エ 活動ホーム・作業所型へのモニター活動

10か所の事業所へモニター活動を実施しました。

日中事業所へのモニター活動訪問先

N0	事業所名	法人名
1	YSK作業所	NPO法人 たんまち福祉活動ホーム
2	ライブアップ金沢エール	NPO法人 中途障害者地域活動センターライブアップ金沢
3	どリーむ横浜二番館	NPO法人 無限夢工房
4	IL・NEXT	一般社団法人REAVA
5	草の実・みんなの開社	NPO法人 こんちえと
6	戸塚障害者地域活動ホームしもごう	NPO法人 活動ホーム しもごう
7	西区地域活動ホーム	NPO法人 西区地域活動ホーム
8	ともしび	NPO法人 ともしび
9	いこいの家	NPO法人 ずんご
10	地域作業所 第一はなかご	一般社団法人 はなかご

オ グループホームへのモニター活動

17か所のグループホームへオンラインでモニター活動を実施しました。

グループホームへのモニター活動訪問先

N0	GH名	法人名
1	ハイムひやくにちそう	社会福祉法人 たすけあいゆい
2	もえぎホーム戸塚	株式会社 コムラード
3	理愛の家・弘明寺	一般社団法人 きさらぎ福祉会
4	グループホーム やまと	社会福祉法人 若竹大寿会
5	ともがき横浜川和	株式会社 日本アメニティライフ協会
6	キセキルポ	株式会社 キセキ
7	第1したまち	合同会社 したまち診療所
8	第2したまち	
9	ホープ川上	社会福祉法人 ひかり
10	グループホーム「ひまわり2番館」	NPO法人 るんと
11	グループホーム「ひまわり3番館」	
12	グリーンウッド仏向	NPO法人 保土ヶ谷支援ネットワークの会
13	メゾンあかしゅ	NPO法人 木々の会
14	SSJ鶴ヶ峰	特定非営利活動法人 横浜市精神障がい者就労支援事業会
15	自立支援ホーム ピュアルト	一般社団法人 自立推進センター
16	理愛の家・上永谷	一般社団法人 きさらぎ福祉会
17	第2カンガルーの家	一般社団法人 カンガルーの家

15 助成団体監査事業

予 算 額	6,000,000円
補正予算額	0円
予 算 現 額	6,000,000円
決 算 額	3,631,845円
差 引 残 額	2,368,155円

※横浜市へ返還

(1) 書面審査

地域活動支援センター障害者地域作業所型等の全助成団体について、令和5年度決算書類等の書面審査を実施しました。

	作業所型	活動ホーム (機能強化)	グループ ホーム	地域 訓練会	合 計
助成・審査 団体数	75	23	9	42	149

※別途、障害児者家庭援護事業実施団体の審査(3団体)

(2) 監 査

助成対象団体が助成金を適正に執行し、健全な運営を行うよう指導するため、地域活動支援センター作業所型等の事業所へは、外部専門職(税理士、社会保険労務士)を加えて監査を実施するとともに、監査後のフォロー調査を実施しました。また、令和5年度より精神障害者作業所型が加わり、監査の結果内容と、事業所の希望に基づき別途説明に赴くフォロー調査を強く行うことで運営の底上げを図りました。

	外部専門職参加監査				職員による監査			総合計 (延べ数)
	一般監査①	特別監査②	合計③	再監査		地域訓練会 ・ 障害児者家 庭援護事業	フォロー 調査	
				主に会計経理	主に組織運営			
作業所型	54	2	56	0	3	—	20	79
活動ホーム	7	0	7	0	0	—	0	7
グループ ホーム	2	0	2	0	0	—	0	2
地域訓練会	20	0	0	0	0	20	0	20
障害児者 家庭援護事 業助成団体	3	0	0	0	0	3	0	3
合計	86	2	65	0	3	23	20	111
実施体制	担当課長、担当職員、税理士、社会保険労務士					担当課長 担当職員 事業推進課職員	担当課長 担当職員	

*①2年連続で実施する定期的な監査

②従来からの経緯や緊急的な対応などにより実施する監査

③監査実施団体の実数

16 地域活動支援センター作業所型等賠償責任保険事業

予 算 額	1,344,000円
補 正 予 算 額	0円
収 入 額	1,344,000円
決 算 額	933,930円
差 引 残 額	410,070円

※横浜市へ返還

地域活動支援センター障害者地域作業所型等の運営者の管理責任において、利用者または第三者の死傷事故や器物損壊事故等が生じた場合の損害賠償を補償するため、賠償責任保険に加入し、運営の安定化を図りました。

なお、この保険については、施設(法人)に勤務する看護師個人が看護職として行う業務に起因して負った法律上の賠償責任の補償を含みます。

(1) 対象団体

167 団体

No.	施設種別	団体数	(内、看護師 対象団体数)	利用者数(人)
1	地域活動支援センター 障害者地域作業所型	74	2	1,149
2	障害者地域活動ホーム	23	21	1,420
3	地域活動支援センター 精神障害者地域作業所型	52	0	1,457
4	地域活動支援センター 中途障害者地域活動センター型	18	0	282

(2) 実績

請求件数 4件

項 目	件 数
支払い件数	1
無責判断件数	3

17 セイフティーネットプロジェクト横浜

予 算 額	1,270,000円	
補正予算額	0円	
収 入 額	1,000,000円	
決 算 額	1,594,302円	
差 引 残 額	-594,302円	※自主財源を充当

障害のある人たちが地域で安心して暮らしていくためのセイフティーネットを構築するために当事者や家族が主体となって設立した「セイフティーネットプロジェクト横浜」において、事務局として次の取組をすすめました。令和5年度は、障害のある人たちの災害避難時の対策を進めていくため、コミュニケーションボードについて学ぶ研修会の開催や地域防災拠点へのコミュニケーションボード等の再配布などを行いました。

		内 容
1	会議の開催	セイフティーネットプロジェクト横浜 本会議(2回)
2	コミュニケーションボード・カードの普及活動	＊コミュニケーションボードの地域防災拠点への再配布 横浜市総務局等と連携し、市内全地域防災拠点へコミュニケーションボードを再配布しました。備蓄品一覧へ掲載していただき、常備品として位置づけた。 ＊教育現場への普及 「自閉症や知的障害のある方のコミュニケーションの特徴や支援ツールとしてのコミュニケーションボードの意義等を学ぶ研修会(基礎編)を開催。 日 時:R5年8月2日(金)13:30～15:00 参加者:99名(会場53名、オンライン46名) ＊地域・障害団体等への働きかけ 地域福祉活動や障害啓発活動グループ等、様々な場面を通じて引き続き周知し理解を求めた。 ＊地域防災拠点配布用文字盤、バンダナ等増刷(600部) ＊横浜市以外の行政機関や公共団体からのボード作成について協力をし、普及を図った。 ＊オリジナルコミュニケーションボード・カード作成システムの更新
3	出前講座活動の推進	＊地域団体の会議など様々な場面を通じて出前講座について周知を行い、活用を呼びかけた。 ＊出前講座の実施 地域からの要請に応じて、区社協等と連携し、障害者や家族、支援者のグループが出前講座を開催。 <実施先> 港北区防災キャラバン(港北区菊名連合町内会)
4	黄色と緑のバンダナの取組の推進	＊災害時に必要な支援を受けることができるよう、障害等があり「配慮が必要な人は黄色」、「支援できる人は緑」のものを身につけようという取組を周知し、理解を求めた。
5	広報の充実	＊事業紹介やコミュニケーションボード、カード普及のため、S-netホームページにあるコンテンツの差し替えを行った。

＊No.5～16(在宅障害者援護事業)の人件費・事務費(研修費含む)

人件費	79,741,737円
事務費	6,876,333円

18 福祉バス運行事業

予 算 額	54,120,000円	
補 正 予 算 額	0円	
収 入 額	54,120,000円	
決 算 額	35,853,840円	
差 引 残 額	18,266,160円	※横浜市へ返還

障害者団体や障害者施設に大型・小型観光バス(大型観光バス2台、車椅子での乗降が可能なリフトバス3台)を貸し出し、行事や研修事業に活用いただくことで、障害者の社会参加を促進しました。(バス運行業務委託会社:有限会社宮浦観光バス)

(1) 実績

※登録団体数:828団体(令和6年3月31日現在)

項 目	件 数
利用件数(団体)	308
利用人数(人)	7,613

19 障害者後見的支援事業

予 算 額	208,641,400円
補正予算額	0円
収 入 額	208,641,400円
決 算 額	186,163,967円
差 引 残 額	22,477,433円

横浜市障害者後見的支援制度における障害者後見的支援推進法人の業務を横浜市より受託・実施し、この制度の推進・運用に関する総合調整を図るとともに、令和5年度に改訂した「制度紹介パンフレット」を活用し、全市的な広報・啓発活動を行いました。

また、横浜市、各区の運営法人とともに、引き続き安定的かつ持続的な制度運用に努めました。

(1) 登録者数(実人数)

	R5実績
知的障害	1,458
精神障害	383
身体障害	85
重症心身障害	51
高次脳機能障害	19
発達障害	43
その他	21
計	2,060

(2) あんしんキーパー数(実人数) 1,535人

(3) 実施区

実施区	後見的支援室名	運営法人名
鶴見	障がい者後見的支援室りんくるつるみ	(社福)大樹
神奈川	神奈川区障がい者後見的支援室おんぶ	(社福)若竹大寿会
西	さぼーと・ねくさす	(社福)横浜共生会
中	中区後見的支援室らるご	(社福)みはらし
南	さぼーと・なみ	(社福)横浜共生会
港南	障害者後見的支援室すまいる港南	(社福)そよかぜの丘
保土ケ谷	障がい者後見的支援室ほどがやゆめあん	(社福)ほどがや
旭	旭区障害者後見的支援室絆	(社福)訪問の家
磯子	磯子区障害者後見的支援室コネクト・ハート	(社福)光友会
金沢	金沢区障害者後見的支援室帆海(ほなみ)	(社福)すみなす会
港北	さぼーと・うみ	(社福)横浜共生会
緑	緑区障がい者後見的支援室みどりのこかげ	(社福)県央福祉会
青葉	青葉区障がい者後見的支援室ほっぷ	(社福)ル・プリ
都筑	つづき障害者後見的支援センターリリーフ・ネット	(社福)同愛会
戸塚	後見的支援センターとつかエコー	(社福)ひかり
栄	栄区後見的支援室とんぼ	(社福)訪問の家
泉	泉区障がい者後見的支援室しーど	(社福)いずみ苗場の会
瀬谷	せや障がい者後見的支援室まんまる座	(社福)瀬谷はーと

(4) 事業内容

	テーマ	内 容
1	会議	・合同代表者会議 制度の運営に係る情報共有、調整等を目的に2回開催。 ・合同担当者会議 各区との情報交換や連絡調整、業務推進上の課題等を共有することを目的に10回開催。 ・事例報告会 主にあんしんサポーターの学びと交流を目的に7回開催。 ・あんしんマネジャー会議 毎月3回程度開催し、各区の情報共有を行い、それぞれの抱える課題について検討。
2	あんしんマネジャー雇用	・4月1日付で2名、11月1日付で2名のあんしんマネジャーを採用し、研修を経て支援室に配置。 ・令和6年1月1日付で、区あんしんマネジャーの異動(1名)及び、横浜市あんしんマネジャーの配置(1名)を実施。
3	人材育成(研修)	・新人マネジャー研修 (一部、支援室にも公開して実施) 期 間:4月～5月の2か月間 参加者:延べ417名 ・新人マネジャー研修(一部、支援室にも公開して実施したが、会場等の都合により、4、5月分よりはかり限定的な公開であった) 期 間:11月～12月の2か月間 参加者:延べ114名
4	広報・啓発	・ワーキンググループで検討を行い、制度紹介のパンフレット改訂版が11月に完成。ホームページの改訂作業も行い、令和6年3月末に改訂が終了。 ・市内や他都市からの問い合わせへの対応。 ・団体・関係機関への事業内容の説明や、依頼に応じた勉強会等に職員を派遣。
5	ライフプラン講座	・障害のある人や家族が学校卒業後の本人の活動や暮らしを検討するときの参考資料(「障害のある人が自分らしく生きていくためにーこれからの活動や暮らしー」)の改訂及び紹介。 ・日中活動の事業所や関係機関の要請に応じて、この資料を活用しながら障害のある人の地域生活等の説明を2回実施。 ・障害者支援センター職員が実施できるよう、内部研修を9月に実施。
6	各区あんしんマネジャーへの支援	・横浜市あんしんマネジャーが中心となり、区あんしんマネジャーへの支援を実施。 主なもの ・区あんしんマネジャーの相談対応。 ・支援室の会議等に参加し、後見的支援計画作成等に関する支援。 ・区あんしんマネジャー退職等による区あんしんマネジャー交代に伴う支援。
7	区社協・地域ケアプラザ等との連携	・地域の実情に応じた制度周知等について、必要に応じ、区社協や地域ケアプラザ等の協力を得ながら、各区支援室とともに検討及び地域の関係者・機関との連携を具体的に進めた。
8	あんしんノート書き方講座の実施	・障害のある人の希望や願い、ご家族の思いをつないでいくための「あんしんノート」の普及を目的とした、あんしんノートの書き方講座を「特定非営利活動法人ゆうの風」「横浜重心グループ連絡会～ばざばネット～」の協力のもと実施。 開催時期:Aコース 9月25日、26日 Bコース 11月28日、29日 参加人数:4日間合計 延べ87名

20 よこはま障害者共同受注総合センター(わーくる)事業

予 算 額	20,447,900円
補正予算額	0円
収 入 額	20,447,900円
決 算 額	17,229,582円
差 引 残 額	3,218,318円



マスコットキャラクター
《じゅチューくん》

企業等からの障害者施設への受注促進や自主製品の販路拡大を通して、障害者の社会参加の拡大及び工賃向上を目的に、包括的なコーディネートを行う「よこはま障害者共同受注総合センター」を運営しました。

- (1) 情報把握・発信
事業所訪問や日常の連絡調整及び障害者団体とのネットワーク活用等により、登録事業所の作業内容や対応能力及び企業等からの受注状況等の把握を行いました。
併せて、ホームページの運用等を通して、事業の実施に関する様々な情報を提供するとともに、障害者施設等の情報発信を支援しました。

登録施設数	新規24か所(累計450か所)
-------	-----------------

- (2) 受注調整
寄せられた受注依頼について調整を行うとともに、履行状況の確認を行いました。そこで把握した留意点・工夫点は登録事業所へ提供し、次の調整にも活用しました。
小・中学校での軽作業やプール清掃等の依頼が引き続き増加しており、近隣の事業所と学校を調整し、作業を受注することができました。
また、民間企業や個人事業主等からの新たな依頼が増加し、障害者事業所の状況を伝えるとともに双方無理のない内容となるように調整を行いました。

受注件数	365件(内新規159件)
------	---------------

- (3) 研修会の開催
登録事業所を対象とした研修を開催し、作業受注及び自主製品の生産活動に関連する知識・技術の向上を支援しました。

	日時・内容等	参加者数
1	「インボイス制度の基礎知識」 6月19日(月) 15:00～16:30 講師:上甲会計事務所 所長 上甲 雅敬氏	50人
2	「学校のプール清掃作業見学会」 ①6月20日(火) 横浜市立鴨居小学校 (作業事業所:第2かたるべ社) ②6月21日(水) 横浜市立中村小学校 (作業事業所:インカル)	①2事業所2人 ②5事業所5人

- (4) 連絡会の運営
障害関連団体及び登録事業所の代表者等による連絡会を運営し、受注センターの運営課題を協議したほか、研修会、受注調整、受注額増に向けての取組み等について協議しました。
開催回数:2回

21 移動情報センター運営等事業

予 算 額	160,386,617円
補 正 予 算 額	0円
収 入 額	160,386,617円
決 算 額	157,727,950円
差 引 残 額	2,658,667円

移動に困難を抱える障害者等からの相談に対し、支援制度のご案内やサービス事業者等の紹介・コーディネートを行う窓口として区社会福祉協議会に設置されている「移動情報センター」について、各区の移動情報センターとの連絡調整及び実績管理などに係る総合調整を実施しました。

		内 容
1	移動情報センター 相談件数 (18区合計)	区移動情報センターから提出された実績報告の取りまとめを行いました。 ○相談件数 2,563件(前年度: 2,172件) ○調整件数 29,834件(前年度:28,632件) ○人材発掘 224名(前年度:257名) ※移動支援に係るボランティアの発掘・確保数
2	会議の開催	①移動情報センター 区社協新配属職員研修(1回) ②移動情報センター事業 担当者会議 (2回) テーマ:移動情報センター運営、ガイドボランティア事業についての 課題共有と事務手続きについて ③移動情報センター事業 コーディネータ連絡会(1回) テーマ:多問題ケースの共有と、担い手不足、他機関との連携 についてのグループワーク ④ブロック別移動情報センターコーディネーター懇談会(4回) テーマ:コーディネート、ガイドボランティア養成講座等について情報共有
3	研修の開催	スキルアップ研修を開催しました。 ・テーマ :移動情報センターのコーディネートにおける必要な知識と理解 ・対 象 :担当職員・コーディネーター ・参加人数:35名
4	推進会議への出席	○関係機関との情報共有・協議・連携を図る場として区移動情報センターに設置されている 「推進会議」への出席を行い、各区の課題の把握・整理を支援センター内及び局移動支援係 と共有しました。
5	ガイドボランティア 事業実績管理	18 区社会福祉協議会のガイドボランティア事業の実績報告の取りまとめを行い、 適切な事務執行を支援しました。
6	課題の整理と検討	各区の移動情報センター推進会議や、担当者会議等で集約した移動についての課題を、健 康福祉局障害自立支援課と共有し、課題解決にむけた話し合いを定期的に行いました。 ○個別支援級児童生徒を対象としたガイドヘルパー事業等公的サービスの柔軟な制度の運 用について ○移動情報センター推進会議の在り方について ○ガイドボランティアの手引き改正について
7	その他	※各区移動情報センターの相談記録管理やガイドボランティア事務処理方法の統一・効率 化、区間の情報共有を図ることを目的とした、クラウドを利用した業務システム(kintone)の管 理を行いました。 ※個別支援級児童生徒を対象としたガイドヘルパー事業等公的サービスの柔軟な制度の運 用の実現化のために、各区に個別ケースの聞き取りを行い要望書としてまとめ、健康福祉局 に提出しました。

22 横浜あゆみ荘事業

予 算 額	249,636,000 円
補 正 予 算 額	0 円
収 入 額	247,244,634 円
決 算 額	232,535,799 円
差 引 残 額	14,708,835 円

(1) 利用実績

令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行、並びに障害者団体へのPR活動やワンドリンクサービスの実施等、利用者数増に向けた取組を行った結果、宿泊者数は昨年度比約3割増、コロナ禍前の平成30年度実績（7,896人）に近い人数まで回復することができました。

◆利用者数増に向けた取組の実施

- ・横浜市障害者地域作業所連絡会、横浜市障害者地域活動ホーム連絡会等、各種団体の会合に出向き、PR活動を行いました。
- ・9名以上の障害者団体が1泊2食付プランをご利用いただいた場合、1泊目の夕食時にワンドリンクを人数分提供しました（実施期間：令和5年6月1日から令和6年2月29日まで 利用数：37団体753人）
- ・インターネット予約サイトの活用
- ・学校の優先予約の継続実施
- ・ふれあいの丘まつり抽選会での「宿泊料金無料券」の配布

◆宿泊部門利用実績数

内 訳		利用者数（人）	利用金額（円）	利用率	稼働率
宿 泊	障害者および介護者	6,481	13,660,900	54.9%	70.9%
	そ の 他	868	3,210,000		
	小 計	7,349	16,870,900		
休 憩（日帰）	障害者および介護者	1,596	816,200	12.9%	13.6%
	そ の 他	132	156,850		
	小 計	1,728	973,050		
合 計		9,077	17,843,950		

※利用率：客室定員39人に対する平均利用率/稼働率：客室数13室に対する平均稼働率

◆研修部門利用実績数

内 訳		利用者数(人)	利用件数(うち団体数)	利用室数
(2室) 研修室	障害者および介護者	6,979	198(141)	817
	そ の 他	543	78(18)	104
	小 計	7,522	276(159)	921
機能回復 訓練室	障害者および介護者	6,049	378(209)	622
	そ の 他	107	17(1)	24
	小 計	6,156	395(210)	646
遊戯室 児童	障害者および介護者	4,917	254(160)	541
	そ の 他	129	23(2)	28
	小 計	5,046	277(162)	569
合 計		18,724	948(531)	2,136

◆過去5年間の利用者数推移

(単位：人)

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
営業日数(日)	290	268	343	343	343
宿泊利用者数	5,763	1,444	2,384	5,442	7,349
休憩利用者数	1,529	594	778	996	1,728
研修部門利用者数	20,217	3,552	9,738	14,904	18,724
利用者数合計	27,509	5,590	12,900	21,342	27,801

※1 R1：レストラン厨房改修・エレベーター改修・排管改修工事と新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため52日休館

※2 R2：緊急事態宣言のため4月から6月14日まで75日休館

※3 R3：4月20日～8月1日及び1月21日～3月21日はまん延防止等重点措置、8月2日～9月30日は緊急事態宣言

(2) 自主企画事業・社会参加促進事業

障害のある方向けの余暇支援、並びに障害理解・啓発の推進に向けて以下の企画事業を行いました。

① 障害のある方のためのバスケットボール教室

開催日	令和5年7月23日(日)
会場	横浜あゆみ荘機能回復訓練室
講師	横浜ビー・コルセアーズ選手1名、コーチ・スタッフ2名 計3名
参加者	障害当事者15名、介助者(付添い)14名 計29名

② 障害のあるお子さんとのそのご家族のための～音色に合わせて LOVE を描こう～

開催日	令和5年7月28日(金)
会場	横浜あゆみ荘機能回復訓練室
講師	フォトグラファー：後藤京子氏 ウクレレ演奏：伊藤大生氏 キーボード演奏：K o -sei 氏 太鼓演奏・参加者対応：カプカプ川和のメンバー及び職員 会場設営・参加者対応：活動ホームくさぶえ職員、大家雅子氏、伊藤有美氏
参加者	障害児8名、保護者9名、兄弟児3名 計8家族20名

③ 夏休み親子体験教室 リボンローズボックス作り

開催日	令和5年7月29日（土）
会場	横浜あゆみ荘研修室1
講師	横浜市中途障害者地域活動センター 青葉の風 利用者5名
参加者	都筑区内小学生とその保護者 計14家族計28名

④ 障害のあるお子さんとのそのご家族のための写真撮影会～LOVE フォト撮影会～

開催日	令和5年8月18日（金）
会場	横浜あゆみ荘研修室1・研修室2
写真撮影者	フォトグラファー 後藤京子氏
撮影アシスタント	亀井由美子氏 伊藤有美氏
参加者	障害児9名、保護者12名、兄弟児3名 計8家族24名

⑤ 障害のあるお子さんとのそのご家族の写真展・作品展～LOVEをつなぐ「わ」展覧会

開催日	令和5年11月12日（日）～12月10日（日）
会場	横浜あゆみ荘1階ラウンジ・廊下

⑥ 障害のある方のためのダンス教室～ヒップホップを楽しもう～

開催日	令和6年2月11日（日）
会場	横浜あゆみ荘機能回復訓練室
インストラクター	ANN／島田 亜由美氏
参加者	障害当事者22名、介助者（付添い者）18名 計40名

⑦ 障害のあるお子さんのためのチア教室

開催日	令和6年2月17日（土）
会場	横浜あゆみ荘機能回復訓練室
インストラクター	横浜ビー・コルセアーズ チアリーダーズ B-ROSE 2名、スタッフ2名
参加者数	障害児6名、保護者12名、兄弟児6名 計6家族24名

⑧ 障害のあるお子さんとのそのご家族の写真展（フォトグラファー後藤京子氏）
（障害者支援センター共催）

開催日・会場	①令和5年12月4日（月）～8日（金）金沢公会堂 ②令和6年2月19日（月）～26日（月）瀬谷区役所 ③令和6年3月14日（木）～15日（金）新都市プラザそごう横浜店地下2階正面入口前
--------	--

⑨ 勉強しようお金のこと～だいじなお金のつかい方・まもり方～

開催日	令和6年3月24日（日）
会場	横浜あゆみ荘研修室2
講師	江國 泰介氏
参加者数	障害当事者11名、介助者（付添い者）9名 計20名

(3) 関係機関との協働事業

① 第2回てつなぎまつり（地域の方々との交流会）

（主催：てつなぎつづき、後援：都筑区役所・都筑区社協、協力：横浜あゆみ荘）

開催日	令和5年8月23日（水）
会場	横浜あゆみ荘機能回復訓練室、研修室1・2、プレイルーム 他
参加者数	ご来場のお客様150名、ボランティア30名、障害当事者・スタッフ80名

② ふれあいの丘まつり（都筑地区センター、都筑プール、都筑工場と共催）

開催日	令和5年11月12日（日）
会場	横浜あゆみ荘1階 機能回復訓練室他
来場者数	約1,700人

23 寄付配分事業

(1) 横浜市内の特別支援学校や支援学校への図書配布事業

本会の寄付財源を活用して、横浜市内の特別支援学校へ障害特性に合わせた図書等を配布することで、障害児が気軽に本に親しめる環境整備に努めました。

令和5年度は、横浜市内の県立特別支援学校9校に対し、障害特性に合わせた図書や関連機器等を配布しました。



図書室の様子



配布した図書 LLブック他

(2) 障がいのあるお子さんとそのご家族の写真展

本会の寄付財源を活用して、好評をいただいているフォトグラファーの後藤京子さんによる家族のかけがえのない幸せの瞬間を撮影した写真展を次のとおり開催しました。

金沢区・瀬谷区において、区民を対象とした家族写真撮影会を開催しました。



金沢公会堂

令和5年12月4～8日



瀬谷区役所

令和6年2月19～26日



新都市プラザ(そごう横浜店 地下2回正面入口前) 令和6年3月14・15日